

トコナツナデシコの飾花マニュアル

○目的

- ・トコナツナデシコは、品種数が多いため、特性の把握や飾花に向く優良品種の選定が求められています。
- ・県内で育成されたトコナツナデシコについて、飾花適性が把握できていないため、育成農家協力のもと、プランター栽培における飾花適性を実証しました。

○トコナツナデシコとは

- ・ナデシコ科ナデシコ属の耐寒性多年草であり、セキチクの変種で江戸時代から栽培されている品種です。
- ・今回、飾花の実証に用いた品種は県内で育成された品種「フォーエバー」を使用しました。
- ・「フォーエバー」は寒さに強く、温度が10度以上あればいつでも花をつける四季咲き性を持っています。
- ・県内では南アルプス市、大月市などで栽培されています。

○実証の概要

- 実証場所：総合農業技術センター 岳麓試験地(標高 820m)
- 実証期間：令和3年5月14日(定植日)～令和4年3月1日
- プランター：普通プランター(直径50cm)、底面吸水型プランター(直径50cm)
- 実証用苗：フォーエバー5品種(3寸ポット苗)
※品種名：レッド、フロスティード、いちごオーレ、富士紫、ホホワイト
- 施肥(60リットルプランターあたりの施肥量)

| 肥料名 | 施肥量 |
|-------------|-----|
| ロングトータル花き1号 | 60g |
| 過リン酸石灰 | 30g |
| 塩化カリ | 5g |
| 舌土石灰(タイニー) | 50g |



○実証の結果

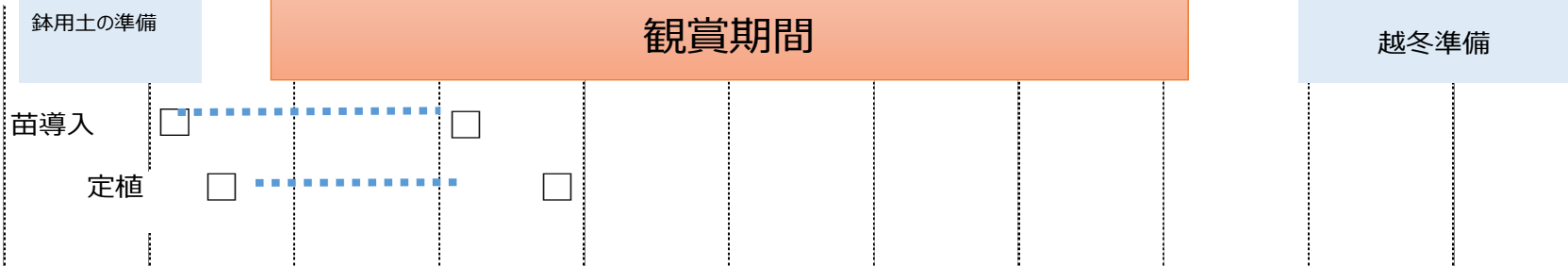
- ・5品種の観賞期間について確認した結果、定植後から8月までは連続開花が見られ、10月頃まで観賞できる状態でした。いずれの品種も観賞期間に差は見られず、飾花に適すと考えられます。
- ・通常プランターや底面吸水プランターに定植し観賞できますが、通常のプランターでは乾きすぎや多灌水にならないように注意が必要です。一方、底面吸水プランターでは、特に長雨が続き梅雨時には、底面の排水蓋を外し水がたまりすぎないように管理します。
- ・越冬状態を確認したところ、底面吸水型プランターのほうが生存率が高く、年を越えてもお花を楽しみたい方は、底面吸水型プランターの使用を検討してみてください。寒冷地で底面吸水プランターを使用する場合は排水蓋を外して凍結に注意しましょう。

暦

年間カレンダー

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

主な作業



定植場所

プランターなどで観賞する場合は、日当たりが良く、通気性、排水性のすぐれた用土に植え付けます。花壇などに直接植え付ける場合は日当たりが良く、通気性、排水性のすぐれた場所を選びます。夏暑くなりすぎると枯れてしまいますので夏には日陰になる場所が良いでしょう。

水管理

特に夏期は水切れをしないよう毎日与えましょう。一方、水のやり過ぎには注意しましょう

施肥管理

定植後から観賞期間中は特に窒素肥料が切れないように緩効性肥料使用します。緩効性肥料を使用する事で、全量基肥のみで追肥なしで管理することが可能です。

病虫害防除

農薬の使用に当たっては、花き類に登録のある農薬を使用します。

飾花に適した品種



【フォーエバーシリーズ】

(左から)レッド、フロスティード、いちごオーレ、富士紫、ホホワイト



通常プランターでの飾花



底面吸水プランターでの飾花

発行：令和4年3月

作成：山梨県花き振興協議会